

報道機関各位

屋外水路を用いた洪水流による実物車両の漂流実験の公開

東京理科大学 理工学部 土木工学科 水理研究室と北見工業大学 地域と歩む防災研究センターでは、大規模屋外水路を用いて洪水流による実車両の漂流実験を実施します。

昨今の豪雨災害で顕著化している河川氾濫被害の一つとして、自動車走行中に洪水流に巻き込まれて漂流する事例が多発しています。先行研究では小型の車両模型を使った室内実験が主に行われていますが、洪水流の中にある実車両の漂流発生条件については未だに不明点が多く、洪水時の車両利用のリスクの認識が十分に浸透していません。本公開実験では、屋外大規模水路において洪水流を再現し、実物車両を用いた漂流実験を行い、実車両の漂流メカニズムの解明に資すデータを取得します。

なお、本実験は北見工業大学地域と歩む防災センターが自然災害に強い地域づくりを目指す技術開発研究等について相互に支援することに合意し、令和元年6月5日に連携協定を締結した北海道開発局 網走開発建設部 北見河川事務所様からご協力を得ます。

ご出席及びご取材をいただけます際には、令和3年10月13日（水）17時までに別紙にて下記担当にご連絡いただけますようお願いいたします。

記

日時：令和3年10月14日（木）8:30～10:00

※悪天候等の場合や新型コロナウイルスの感染状況によっては、中止または延期することがあります。

8:30～ 実験概要の説明

9:00～10:00 屋外水路へ給水（実験開始）

※実験状況により、終了時間が延びることがあります。

場所：北見工業大学 オホーツク地域創生研究パーク（旧北見競馬場）

（北見市若松306番地）

（裏面案内図のとおり）

その他：

- ① 会場のトイレは一カ所のみです。
- ② 飲料用の水飲み場はありませんので、各自でご持参ください。
- ③ 会場まで公共交通機関はありませんので、自家用車等でお越しください。
- ④ 感染症予防対策について
 - ・「三密」を避けるため、50名の先着とさせていただきます。
 - ・発熱など体調不良の方はご参加をお控え下さい。
 - ・マスクの着用、手洗いや手指の消毒をお願いします。

【担当：本件問合せ先】

北見工業大学 研究協力課副課長 松沼 拓夫

〒090-8507 北見市公園町165番地 Tel:0157-26-9151 / Fax:0157-26-9155

E-Mail:kenkyu02@desk.kitami-it.ac.jp

(別添資料 1)

<公開実験の内容>



図1 屋外大規模水路の概要

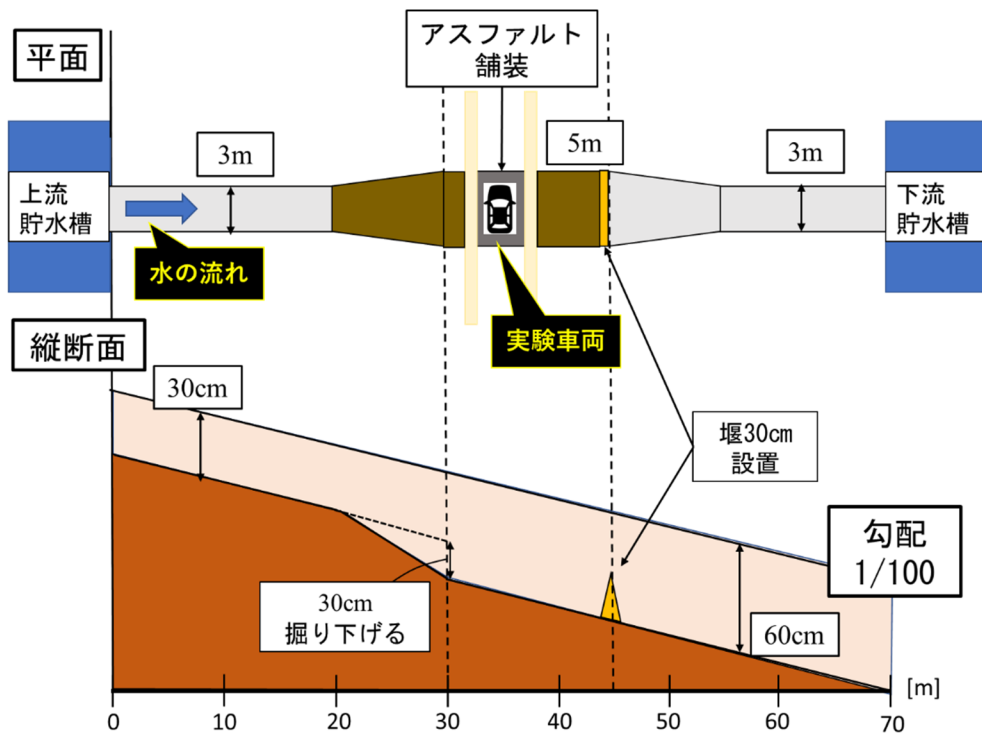


図2 実物車両の設置位置

<謝辞>

本実験は、公益財団法人河川財団の運営する河川基金の助成を受けて実施します。

実験担当者：東京理科大学 理工学部 土木工学科 水理研究室

小野村 史穂 (s.onomura@rs.tus.ac.jp)

二瓶 泰雄 (nihei@rs.tus.ac.jp)

北見工業大学 地域と歩む防災研究センター

川尻峻三(skawajiri@mail.kitami-it.ac.jp)